



ケンブンスイッチ

6月号



エコなカレンダーはいかがでしょうか？

今回はカレンダーの話をしましょう。「まだ6月なのに？」と思われるかもしれませんが、年末に配布されるカレンダーは、今くらいの時期が企画スタートのタイミングなのです。デジタル化が進む昨今でも、オフィスでは約65%の方が紙のカレンダーを使っているというデータ※があります。その中でも約75%の方は、取引先などの名入れカレンダーを使っているそうです。このことからカレンダーは、数ある宣材の中でも長く使っていただける「ノベルティの優等生」といえるでしょう。

もし貴社がカレンダーの作成をお考えでしたら、環境に配慮したエコカレンダーで差別化を図ってみてはいかがでしょうか？
当社では様々なエコカレンダーを取り扱っています。たとえば加工面での環境配慮。壁掛けカレンダーには、金具ではなく糊で製本するタイプがあります。糊製本であれば使用後は分別不要で廃棄やリサイクルに回すことが可能です。同様に卓上カレンダーでも、紙製の留め具リングを使用したエコペーパーリング製品があります。

その他にも紙の原料にエコな間伐材を使用したものや、石灰石由来の新素材LIMEXを使ったもの、印刷過程でカーボンニュートラルを実現したものなど、豊富な実績がございます。ぜひお気軽にお問い合わせください。



※株式会社ギフトイトが2022年に行った
「仕事をする時に使う卓上カレンダーに関するアンケート」より。
<https://www.giftit.co.jp/research/202208.html>